

代表質問

笠岡市議会
維新の会
三郎 明文 義隆 忠義
健訓 義隆 隆忠
本野 井本 月口
山天 角藤 蔵大 田
質問者
メンバー

市長3期目公約の進捗状況と今後の課題について

議員 福祉のまちづくりの推進について、成果と今後の課題についてたずねる。

市長 幼稚園3年保育や学童保育の充実など子育て環境の向上を図るとともに、井笠圏域障がい者相談支援センター設立、通所介護施設の開設のための住宅改修費の補助制度等による島しょ部における介護・福祉サービス拡大、支援など、きめ細かな取り組みを行っている。

市民病院については、時代の変化に対応した自治体病院の存続意義を考えていく必要がある。まずは何よりも医師の確保が極めて大切である。病院の改革プランに沿って、全力で取り組んでいかなければならない。

全体の公約件数は59件で、実現したものが7件、予定どおり進行しているものが47件、予定より遅れているものは5件ある。

教育について

議員 少子化の中、幼稚園を含め、学校の統廃合が必要な地域もあると思われる。地域の思いの中、子どもたちにとって本当に良いことなのかを区別した上で考える時が来ているのではないかと。

教育長 教育委員会では、未来を担う子どもたちによりよい教育を行いたいというところで、保護者を中心に統廃合の協議を行っている。統廃合を行うに当たっては、現実的な課題が横たわって

いる。問題解決へ向けてのプロセスも必要で、繰り返し協議していく中で理解が進むものと考えている。

水道料金の値下げについて

議員 水道事業は黒字を維持しながら経営を続けている状況の中、水道料金の値下げを行うことが可能と考えられるが、市長の見解をたずねる。

市長 水道事業会計の経営状況は、料金見直し後は改善の傾向にあるものの、給水人口の減少傾向、さらには節水機器の普及等により、使用料収入の増加が期待できない状況になっている。このような中、老朽施設が増加していくため、修繕・施設の更新・耐震対策など莫大な費用を必要とするため、さらに厳しい経営状況が予想される。

まずは累積欠損金の解消を図ることに取り組んでいかなければならない。現時

点では水道料金の値下げは困難な状況にある。しかし、さらに一層経費節減等企業努力を重ねながら、市民の期待・要望に応えられるような水道料金になるよう、全体的な状況の判断をする中で、今後積極的に検討していかなければならないと思っている。

会 清 徳

三明子 正秀
順俊 聰裕
尾本 岡越
栗山 森馬
仁科

質問者
メンバー

商店街づくり

議員 ①空き店舗の有効利用の取り組みは具体的にどのようなになっているのか。

②近年、店舗を閉める所が目立つが、抜本的な対策をとらぬ以外、商店街は住宅街に変身するのは時間の問題だと思いが、どう考えているのか。

市長 ①空き店舗数は、現在34店舗になっている。

本市の商店街の場合、店舗兼住宅の併用型が多く、廃業した後も店主の住居として使われる場合が多いため、空き店舗の利用はなかなか進まないと考えている。商店街・商工会議所・市の三者で構成しているネットワーク会議において、今後、空き店舗の有効利用について協議していきたい。

②商店街の振興については、商店街・商工会議所・市の三者が一体となって取り組んでいる。今年度は「百縁笑商店街」の開催など、従来の取り組みとは違った角度から取り組んでいる。さらに、新たに事業を始める方を支援する制度を10月から実施するよう準備している。

シャッター通りと言われる構造的な変化を止めることは難しい状況にはあるが、商店街の皆さんと一緒に進んでいきたいと考えている。